

国指定重要無形民俗文化財

1月11日(月・祝)

# 大磯の左義長

火入れ18時半頃から順次 北浜海岸

1月11日の早朝、下町と呼ばれる地域では、町内各所に立てられていた大松やオンベ竹をはじめ、道祖神に集められた正月のお飾りや縁起物を浜に運んでセエトと呼ぶ大きな塔を立てます。

夜になるとセエトを燃やし、団子を焼いて食べます。また、傍らでは、「ヤンナゴッコ」と呼ばれる珍しい綱引き行事も行われます。

真っ暗な海岸で燃え盛るセエトは圧巻ですが、日中の海岸に9基のセエトが立ち並ぶ様は静謐です。

ぜひ、昼と夜の対比もお楽しみください。

## \*交通手段について

車での来場時は大磯港県営駐車場（有料）をご利用ください。

混雑時は入出場をお待ちいただく場合があります。

## だんご販売について

だんご花（まゆ玉）は大竹竿の先に針金で輪挿しにし、どんどの火で焼いて食べると「1年間風邪をひかない」と言い伝えられています。

## だんご焼セット(だんご、竹竿と針金付き)

### ▼販売場所

- 12時～長者町老人憩いの家・芦川酒店（浜の町道祖神前）
- 16時～大磯海水浴場しらす加工場付近・献灯提灯おもてなしコーナー
- 17時～浅間サイト前

▼販売価格 700円（個数限定／予約不可）

問 生涯学習課 ☎内線323  
産業観光課 ☎内線248  
町観光協会 ☎(61)3300

## 日本基督教団大磯教会「礼拝堂、門柱及び塀」(大磯町大磯)が国登録有形文化財(建造物)に登録

昭和12年に建築され、今年築79年を迎えた日本基督教団大磯教会の「礼拝堂、門柱及び塀」が、平成27年11月20日(金)に、国登録有形文化財(建造物)に登録されました。

**日本基督教団大磯教会とは**  
大磯町大磯1348に所在する木造教会です。正面に尖塔アーチの玄関を構え、内部にもゴシック風のアーチを架けています。門柱及び塀はアール・デコ風に仕上げられ、門柱には三筋の溝が表されています。

### 国登録有形文化財とは

文化財指定制度を補完するため、平成8年に新たに導入されました。開発等で社会的評価を受ける間もなく、消滅の危機にさらされている大量の文化財建造物を後世に継承していくために、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する制度です。今回の登録で県内の登録有形文化財(建造物)は累計で207件(107箇所)となりました。

大磯町では、平成24年に登録された「旧木下家別邸(大磯駅前)」に続き2番目の国登録有形文化財となりました。今後は、貴重な文化財としての保存・活用を図っていきます。

### 【用語】

○尖塔 細長く先のとがった屋根を持つ建物。  
○ゴシック 12世紀の北西ヨーロッパに出現し、15世紀まで続いた建築様式を示す言葉。  
○アール・デコ 1920年代の装飾スタイルのこと。幾何学図形をモチーフにした記号的表現や原色による対比表現などが特徴的。



### 問

生涯学習課

☎内線323